

ガスコンロの使用中、 ヒヤリとしたことは ありませんか？

調査*によると、**74.4%**の方が、
事故につながるおそれのある、
うっかりミス・危ない使い方の経験
があると回答しました。

ガスコンロを原因とした火災は、安全装置の
付いたガス器具の普及などにより減少傾向
にありますが、住宅火災の出火原因としては
依然としてもっとも多くなっています。

※東京都生活文化局「ガスコンロの安全な使用に関する調査」より



事故を防ぐために日頃からこんなところに注意してください



調理中は絶対にその場を離れない！

離れるときは必ず火を消してください。

ガスコンロとそのまわりはいつもきれいに！

コンロのまわりには燃えやすいものを置かないでください。
また、グリル庫内は燃えやすい脂汚れがたまるため、こまめに掃除してください。

見えない炎に注意！

強火で使用している場合は、鍋の上部などでも繊維(着衣等)に着火することがあります。炎が見えなくても注意しましょう。

使っていないガス栓は絶対に開けない！

使用していない(ガス器具に接続されていない)ガス栓を間違えて開けて
しまうと、**重大な事故**につながります。

自宅の工事の際にも注意を！

外壁の清掃・塗装工事などを行う際、養生の
ためガス器具をビニール等で覆う場合があり
ます。そのまま使用すると異常着火や火災事故、
CO(一酸化炭素)中毒の原因になります。



ガス器具の設置時は十分に確認を！

中古などのガス器具を自分で設置する際は、接続ミスが
ないよう説明書等でしっかり確認してください。
接続方法がわからない、また使用中に異常がある場合は、
すぐにメーカー又はガス器具販売店へ連絡しましょう。



安全機能の充実した最新器具への「安心替え」をおすすめします

ガスコンロに搭載されている「Siセンサー」(調理油過熱防止装置・
立ち消え安全装置・消し忘れ消火機能)をはじめ、最新のガス器具
には事故を未然に防ぐさまざまな**安全機能**が付いています。
長期間使用しているガス器具は、不具合がなくても最新器具への
「**安心替え**」をおすすめします。

